

目の前に延びる道が、あまりにも困難そうに見えるときは、わたしに向かってこう言いなさい。「私にはできません。けれどあなたと一緒にいるなら**できます**」。自分だけでは能力が足りないと認めることは、現実を受け止める健全な方法だ。しかしこれは方程式のほんの一部でしかない。なぜなら自分に力が足りないという感覚そのものは、その人を動けなくするからである。その方程式で最も大切な部分は、あなたのそばに常にある。わたしの臨在と、あなたを助けたいという、わたしの思いを認めることである。わたしの前にあなたの心を注ぎ出しなさい。わたしに、あなたの重荷を負ってくださいと願い求め、進んで行くべき道を示してくださいと願い求めるのだ。自分にはコントロールできないことを心配して、エネルギーを無駄に浪費してはならない。むしろその力をわたしとつながるために用いなさい。**絶えずわたしの顔を仰ぎ求めなさい**。あなたが進んで行くにつれ、わたしが道を開いていくことを信頼しつつ、わたしが導く所ならどこへでも行けるように、準備しておきなさい。あなたの力不足を、わたしの臨在に入って行くための扉とみなすようにしなさい。あなたの旅路を、わたしと一緒に分かち合う冒険とみなしなさい。わたしとの近しい交わりのうちにとどまり、旅の相棒、道連れとして、わたしを楽しみなさい。

【新改訳 2017】

1

【新改訳 2017】

ピリピ 4:13

私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

詩編 62:8

民よどんなときにも神に信頼せよ。あなたがたの心を神の御前に注ぎ出せ。神はわれらの避け所である。セラ

詩編 105:4

【主】とその御力を尋ね求めよ。絶えず御顔を慕い求めよ。